

研究課題名	進行または再発非小細胞肺癌に対する Nivolumab+Ipilimumab および 殺細胞性抗がん剤+Nivolumab+Ipilimumab の有効性、安全性に関する後方視的観察研究
研究の意義・ 目的	進行または再発した非小細胞肺癌に対する治療として、Nivolumab(ニボルマブ)と Ipilimumab(イ ピリムマブ)の併用治療および殺細胞性抗がん剤と Nivolumab(ニボルマブ)と Ipilimumab(イピリ ムマブ)の併用治療が承認されています。しかしながら、上記の治療に関する日本人での有効性や 安全性に関するデータは少なく、実際の診療現場での有効性や安全性に関する報告も少ないです。 そのため、今回の研究で、実際の診療現場での Nivolumab(ニボルマブ)と Ipilimumab(イピリム マブ)の併用治療および殺細胞性抗がん剤と Nivolumab(ニボルマブ)と Ipilimumab(イピリムマ ブ)の併用治療の有効性や安全性を検討することを目的としています。
研究を行う 期間	機関の長の実施の許可日～ 2024年3月
研究協力をお 願いたい方 (対象者)	2021年1月～2023年3月に大阪公立大学医学部附属病院の呼吸器内科で、非小細胞肺癌の治 療のため受診・入院された方が対象となります。
協力をお願い したい内容と 研究に使わせ ていただく試 料・情報等の 項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 診療情報等：【病歴、診断名、年齢、性別、既往歴、検査データ、病理診断、CT 画像、PET/CT 画像、MRI 画像、抗がん剤の種類や治療効果、抗がん剤の副作用など】
試料・情報の 他機関への 提供	この研究は大阪公立大学医学部附属病院呼吸器内科および大阪公立大学大学院医学研究科臨床腫 瘍学のみで行い、他の機関に情報は提供いたしません。
この研究を行 っている共同 研究機関	この研究は大阪公立大学医学部附属病院呼吸器内科および大阪公立大学大学院医学研究科臨床腫 瘍学のみで行います。
試料・情報を 管理する責任 者	大阪公立大学大学院医学研究科 臨床腫瘍学 研究責任者 金田 裕靖
本研究の 利益相反	利益相反の状況については研究者等が利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて 適切に管理します。
研究に協力を したくない 場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を 断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	大阪公立大学大学院医学研究科 呼吸器内科学 (担当者氏名) 杉本 亮 電話番号：(06) 6645 - 2121